

M. デ・ファリャ

NOCHES EN LOS JARDINES DE ESPAÑA (スペインの庭の夜)



この作品は ...

- ドビュッシーに続く印象派の作品。夢のように魔法をかけられた庭の夜の雰囲気描写されています。
- ファリャはピアノ独奏のための4曲のノクターンからなる作品集として、この作品を作曲し始めました。しかしイサーク・アルベニスのアドバイスを受け、編成と形式を変更しました。
- この曲の特徴は、ピアノがエフェクトや輝きを放つことなくオーケストラの響きに独創的に溶け込んでいることです。
- 交響曲でもなければ、ピアノ協奏曲でもありません。

ヘンレ版について

- 自筆のスコアを最も重要な二次資料として評価しています。
- 運指は世界的ピアニストのユジャ・ワンが担当しています。



もっとも有名な

... 楽章

- 最終楽章の『En los jardines de la Sierra de Córdoba』（コルドバの山の庭にて）は、夜のにぎやかな祭の風景をみごとに表現しています。

... 演奏家

- 最も知られた演奏家は、アルトゥール・ルービンシュタインです。彼は早くからこの作品を演奏するだけでなく、いくつかの録音も残しています。